



オレオレ詐欺の実話を題材にした寸劇・舞台上左端の携帯電話をにかけている人物は息子に成り済ました犯人。同右端で電話を受けている女性は息子さんの母親役(2015.2.2 昭島市民ホール)

振り込め詐欺、今年既に3件被害額600万円発生

架空請求詐欺・オレオレ詐欺・還付金詐欺で被害

2月2日(月)午後2時より昭島市民ホールで昭島警察署・昭島市役所・昭島防犯協会主催、昭島市老人クラブ連合会後援による「ニセ電話詐欺被害防止昭島市民のつどい」が開かれ約100名の人々が熱心に耳を傾けていました。

昨年市内では、特殊詐欺が26件、被害額5,500万円と前年の約2倍、1回の被害額50万円～600万円となり、由々しき状況下にあります。そのため昭島警察署は現在、詐欺被害ゼロをめざして特別対策を実施中です。

No. 069

(発行日)

2015.2.15

(発行責任者)

防犯宮沢支部

関根富士夫

(電話)

042-543-9085

この「つどい」は西尾昭島警察署長、水野昭島市市民部長の挨拶のあと2部形式で行われました。

第1部は漫才 高齢者を襲う闇」と題して特殊詐欺のお話し(出前寄席OB会のメンバー)、第2部は「ニセ電話詐欺の実演」と題しオレオレ詐欺」を解説を交えながら行われました。

【解説】息子さんやお孫さんからオレだよオレ。携帯番号が変わった。お金を用意して！等の電話があったら必ず元の携帯番号に確認の電話を入れる。こうすることでウソ電話かどうかわかります。

2面 ざらりわが街宮沢界限



「昭島防犯協会に栄光あれ！カンパーイ！！」音頭をとる平畑警察懇話会会長(2015.1.20 市民交流センター)

「新年初顔合せ会」

開かれる

1月20日(火)午後6時から市民交流センターで昭島防犯協会恒例の「新年初顔合せ会」が開かれ、市内の関係諸団体、個人から90名の参加がありました。

石川防犯協会会長、西尾昭島警察署長の挨拶のあと、北川昭島市長、中野市議会議長、神野都議から祝辞が述べられました。

祝辞では、安全安心のまちづくりの推進・防犯情報の共有化・防犯に対する総合的な対策の必要」等が述べられました。

-----オレオレ詐欺撃退法-----

- 息子・孫からのお金の催促電話には必ず掛け直す(何も考えず元の電話番号にかける)
- 息子との連絡は合言葉を決めておく
- 親族とは携帯電話だけで連絡する(携帯電話への詐欺電話は今のところない)
- 電話機にナンバーディスプレイを導入する
- 常時、留守番電話に設定しておく
- 自動通話(警告)録音機を取り付ける(昭島警察署に申し込む。貸出し・取り付けをしてくれる)